

○ 美幌中学校

- ・ アンケート分析・方向性について
- ・ 生徒、保護者アンケート結果について
- ・ 職員自己評価の結果について

平成30年度学校教育活動に関するアンケートの回答を受けて

余寒の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動・PTA 活動に対しましてご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年2回実施した学校教育活動に関するアンケートにご協力いただき、まことにありがとうございました。集計結果は別紙の通りとなりましたので、結果を総括し、今後の方向性をまとめました。皆様からいただきましたご意見等は、全職員で共有・検討し、学校改善に努めてまいります。今後とも保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

学校教育活動に関するアンケートに対する学校としての総括と今後の方向性

1 学校教育目標に関して

学校教育目標「明朗で、なごやかな生徒」「自ら考え、行動する生徒」「健康で、たくましい生徒」に関する質問①②③への肯定的回答は、生徒・保護者ともにすべて70%を超えました。しかし、別調査の〔生活リズムチェック〕や〔体力テスト結果〕からは課題も浮き彫りとなっています。生徒ひとり一人を大切に作る集団作りを通して楽しく潤いのある学校づくり、考えを深め自立性を発揮する生徒の育成、生命の尊重や健康安全の保持・増進に向けて生徒自身が成長を実感できるよう、全教師の共通認識を基盤とした指導の充実を今後も目指します。

2 学習面に関して

授業への取組に関する質問⑤に対する肯定的回答は、生徒が80%超・保護者が65%超でした。家庭学習の取組に関する質問⑥に対する否定的回答は生徒・保護者ともに50%超と、昨年度よりも減少しましたが依然として大きな課題です。授業改善や学習サポートの取組等を推進してまいりましたが、学ぶ意義について考えさせるとともに【家庭学習の習慣化】【学び直しの機会の充実】などを軸として、活気ある学習状況の構築と、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。各ご家庭におかれましても、【家庭学習の習慣化】について、より一層のご協力をいただきますようお願いいたします。

3 生活面に関して

規則正しい生活に関する質問⑦に対する否定的回答が、生徒・保護者ともに30%を超えました。ゲーム・スマホ等により「早寝早起き朝ごはん」・家庭学習時間・睡眠時間が確保されていないことが懸念されます。別調査では読書をしない生徒が多いことも分かりました。日常的に生活リズムをチェックするなど、保護者の方々との連携が今後必要であると考えます。一方、学校行事や部活動に関する質問⑧は、生徒・保護者ともに肯定的回答が90%程度と昨年同様に高評価でした。行事等を適切に実施し、心身ともに健全で豊かな人間性や人間関係の構築に向けて指導の充実を目指します。

4 挨拶・身だしなみ・活気ある生活に関して

挨拶に関する質問④「個人レベル」の指標値が生徒・保護者ともに昨年度と同程度ではあるものの、7→12月で2～5%下降する残念な結果となりました。質問⑩の身だしなみも含め、生徒会による啓発運動等を通して、自己の在り方を考える機会の充実を目指します。活気ある生活に関する質問⑪は、生徒の肯定的回答が80%を超える結果でした。生徒個々の積極性を大切に指導の充実を今後も目指します。

5 学校の様々な取組に関して

学力向上の取組に関する質問⑫の肯定的回答は、昨年度10pt上昇して6割に迫りましたが、今年度はさらに6pt上回りました。長期休業中の学習サポートやTT・習熟度別授業の実施などに取り組んだ結果であると考えられ、今後も学力向上の取組を推進します。いじめ等の生徒を取り巻く問題に関する質問⑬は、昨年度とほぼ同様でした。生徒個々への教育相談や心の教育の一層の充実を目指します。進路指導に関する質問⑭も、昨年度とほぼ同様でした。将来を見据えたキャリア教育の充実を図るとともに、保護者の方々への情報発信に努めるなど、連携体制をより確かなものにしていきたいと考えます。また、発出する文書の適正化(記載内容等)に努めます。

6 最後に

質問⑫「私は美幌中学校の生徒で良かったと思う」に対する生徒の肯定的回答は、昨年末を6pt程度上回りました。生徒ひとり一人とのコミュニケーションを大切にしながら生徒の健全な成長を目指して、今後も指導・支援を進めていきます。今後とも本校の教育活動に対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

7月回答	生徒	225	人	97.0	%	保護者	214	人	92.2	%
12月回答	生徒	209	人	90.1	%	保護者	205	人	88.7	%

生徒への質問① 私は、明朗でなごやかに学校生活を送っている
保護者への質問① お子さんは、「明朗で、なごやかな生徒」に成長した

4段階指標値	生徒	7月	3.18	12月	3.24	0.06	保護者	7月	3.09	12月	3.11	0.02										
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]			あまりそう思わない [2]			そう思わない [1]			わからない [0]			肯定票 4+3			否定票 2+1			増減(7月→12月)
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	肯定	否定	肯定	否定		
	生徒(人)	74	79	105	92	25	23	6	4	15	11	179	171	31	27	-8	-4					
割合	32.9%	37.8%	46.7%	44.0%	11.1%	11.0%	2.7%	1.9%	6.7%	5.3%	79.6%	81.8%	13.8%	12.9%	2.3%	-0.9%						
保護者(人)	59	54	114	116	29	25	6	4	6	4	173	170	35	29	-3	-6						
割合	27.6%	26.6%	53.3%	57.1%	13.6%	12.3%	2.8%	2.0%	2.8%	2.0%	80.8%	83.7%	16.4%	14.3%	2.9%	-2.1%						

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度より0.1pt上昇した。生徒指導基本方針「一人一人を大切にする集団づくりの中から学校を楽しく潤いのあるものにする」を浸透させ、安定した生活を送ることができるように、全教師の共通理解を基盤とした指導を充実させる必要がある。

生徒への質問② 私は、自ら考え、行動している
保護者への質問② お子さんは、「自ら考え、行動する生徒」に成長した

4段階指標値	生徒						保護者						増減(7月→12月)							
	7月		3.04		12月		3.13		0.09		7月				2.91		12月		2.90	
	そう思う [4]		だいたいそう思う [3]		あまりそう思わない [2]		そう思わない [1]		わからない [0]		肯定票 4+3		否定票 2+1							
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	肯定	否定				
生徒(人)	46	60	132	111	31	30	3	2	12	6	178	171	34	32	-7	-2				
割合	20.5%	28.7%	58.9%	53.1%	13.8%	14.4%	1.3%	1.0%	5.4%	2.9%	79.5%	81.8%	15.2%	15.3%	2.4%	0.1%				
保護者(人)	40	33	118	124	48	37	5	8	3	2	158	157	53	45	-1	-8				
割合	18.7%	16.2%	55.1%	60.8%	22.4%	18.1%	2.3%	3.9%	1.4%	1.0%	73.8%	77.0%	24.8%	22.1%	3.1%	-2.7%				

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度と同程度である。今年度の重点目標「目指す生徒像～「考えを深め前進することができる生徒」を実現させるための具体的方策・実践課題を意識した教育実践を展開することが今後も必要である。

生徒への質問③ 私は、健康で、たくましく学校生活を送っている
保護者への質問③ お子さんは、「健康で、たくましく学校生活を送る生徒」に成長した

お寺さんは、健康で、よくまいにち生活に満足しています																														
4段階指標値	生徒		7月		3.09		12月		3.27		0.18		保護者		7月		3.22		12月		3.33		0.11							
4段階指標値	そう思う		[4]		だいたいいそう思う		[3]		あまりそう思わない		[2]		そう思わない		[1]		わからない		[0]		肯定票		4+3		否定票		2+1		増減(7月→12月)	
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定		
生徒(人)	76	83	87	86	35	21	11	5	14	13	163	169	46	26	6	-20														
割合	34.1%	39.9%	39.0%	41.3%	15.7%	10.1%	4.9%	2.4%	6.3%	6.3%	73.1%	81.3%	20.6%	12.5%	8.2%	-8.1%														
保護者(人)	80	91	100	88	26	21	4	2	3	3	180	179	30	23	-1	-7														
割合	37.6%	44.4%	46.9%	42.9%	12.2%	10.2%	1.9%	1.0%	1.4%	1.5%	84.5%	87.3%	14.1%	11.2%	2.8%	-2.9%														

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度より0.1pt上昇している。しかしながら、生徒の生活リズム状況や体力テスト結果からは課題が浮彫りとなり、生命尊重とともに、健康安全の保持・増進を目指した指導及び生徒自身が成長を実感できる指導の充実を図ることが望まれる。

生徒への質問④ 私は、自ら挨拶している
保護者への質問④ お子さんは、「自ら挨拶する生徒」に成長した

4段階指標値														7月		3.44		12月		3.29		-0.15		保護者		7月		3.17		12月		3.18		0.01	
4段階指標値	そう思う [4]				だいたいそう思う [3]				あまりそう思わない [2]				そう思わない [1]				わからない [0]				肯定票 4+3				否定票 2+1				増減(7月→12月)						
	7月		12月		7月		12月		7月		12月		7月		12月		7月		12月		7月		12月		7月		12月		肯定		否定				
生徒(人)	123		96		73		81		17		25		5		5		7		2		196		177		22		30		-19		8				
割合	54.7%		45.9%		32.4%		38.8%		7.6%		12.0%		2.2%		2.4%		3.1%		1.0%		87.1%		84.7%		9.8%		14.4%		-2.4%		4.6%				
保護者(人)	66		73		114		91		21		31		5		3		8		6		180		164		26		34		-16		8				
割合	30.8%		35.8%		53.3%		44.6%		9.8%		15.2%		2.3%		1.5%		3.7%		2.9%		84.1%		80.4%		12.1%		16.7%		-3.7%		4.5%				

<分析・考察> 保護者の指標値が昨年度より0.1pt下降しており、生徒個々の挨拶を励行する意識の高揚を基盤に、全校的な実践へと拡大することが望まれる。形式的な挨拶だけではなく、心の通じる挨拶の意義について考えさせる取組を、生徒会活動を交えながら図っていくことが必要である。

生徒への質問⑤ 私は、学校の授業にしっかり取り組んでいる
保護者への質問⑤ お子さんは、学校の授業にしっかり取り組んでいる

8371701762747017627																
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度と同程度である。「学習規律の確立」「学び直しの機会の充実」を図ってきた成果とも捉えられる。「課題の提示と振り返り」等の「授業のUD(ユニバーサルデザイン)化」のほか、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導の充実が重要である。

生徒への質問⑥ 私は、家庭学習の習慣が身に付いている
保護者への質問⑥ お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている

お子さんは、家庭で自分の責任が分かっている																										
4段階指標値	生徒		7月		2.19		12月		2.17		-0.02		保護者		7月		2.44		12月		2.42		-0.02			
4段階指標値	そう思う [4]		7月		12月		7月		12月		2.19		2.17		肯定票 4+3		7月		12月		2.44		2.42		増減(7月→12月)	
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定		
生徒(人)	24	24	50	49	71	63	60	63	18	10	74	73	131	128	-1	-5										
割合	10.8%	11.5%	22.4%	23.4%	31.8%	30.1%	26.9%	30.1%	8.1%	4.8%	33.2%	34.9%	58.7%	60.3%	1.7%	1.5%										
保護者(人)	39	35	59	62	64	54	46	48	5	6	98	97	110	102	-1	-8										
割合	18.3%	17.1%	27.7%	30.2%	30.0%	26.3%	21.6%	23.4%	2.3%	2.9%	46.0%	47.3%	51.6%	49.8%	1.3%	-1.9%										

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度と同程度であり、前年同様に否定的回答が生徒・保護者ともに5割超という状況である。学習の意義について考えさせる指導の充実のほか、家庭学習の手引きを活用するなどして、家庭学習の習慣化の取組を保護者と連携して強く推進することが必要である。

生徒への質問⑦ 私は、規則正しい生活を送っている
保護者への質問⑦ お子さんは、規則正しい生活を送っている

お茶の水女子大学 令和5年度 生活学習調査結果																									
4段階指標値		生徒		7月		2.75		12月		2.80		0.05		保護者		7月		2.70		12月		2.72		0.02	
		そう思う		7月		12月		7月		12月		7月		12月		7月		12月		7月		12月		増減(7月→12月)	
		[4]						[2]				[1]		[0]		肯定票		肯定票		否定票		否定票			
																4+3		2+1							
生徒(人)		39	47	104	83	45	49	24	19	13	9	143	130	69	68	-13	-1								
割合		17.3%	22.7%	46.2%	40.1%	20.0%	23.7%	10.7%	9.2%	5.8%	4.3%	63.6%	62.8%	30.7%	32.9%	-0.8%	2.2%								
保護者(人)		39	44	92	79	58	60	22	20	3	1	131	123	80	80	-8	0								
割合		18.2%	21.6%	43.0%	38.7%	27.1%	29.4%	10.3%	9.8%	1.4%	0.5%	61.2%	60.3%	37.4%	39.2%	-0.9%	1.8%								

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度と同程度である。ゲームやスマホ等により「早寝早起き朝ごはん」「家庭学習時間」「睡眠時間」が確保されていないことが懸念され、日常生活リズムを改善する取組を保護者と連携して今後も推進する必要がある。読書の時間(人数)が大幅に少ないことも課題である。

生徒への質問⑧ 私は、学校行事や部活動に積極的に取り組んでいる
保護者への質問⑧ お子さんは、学校行事や部活動に積極的に取り組んでいる

4段階指標値	生徒	7月	3.32	12月	3.29	増減	保護者	7月	3.42	12月	3.44	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]			あまりそう思わない [2]			そう思わない [1]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
生徒(人)	105	97	81	77	19	2	9	9	10	5	186	174
割合	46.9%	51.1%	36.2%	40.5%	8.5%	1.1%	4.0%	4.7%	4.5%	2.6%	83.0%	91.6%
保護者(人)	117	110	71	73	16	11	6	6	2	5	188	183
割合	55.2%	53.7%	33.5%	35.6%	7.5%	5.4%	2.8%	2.9%	0.9%	2.4%	88.7%	89.3%

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度と同程度である。心身ともに健全で豊かな人間性や人間関係の構築に向けて指導の充実を図り、各種取組を適切に発信することが重要である。部活動指導(時間)の適正化については、保護者等への理解を得ながら推進することが必要である。

生徒への質問⑨ 美中生は、あいさつができています
保護者への質問⑨ 美中生は、あいさつができています

4段階指標値	生徒	7月	3.24	12月	3.2	増減	保護者	7月	3.04	12月	2.97	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]			あまりそう思わない [2]			そう思わない [1]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
生徒(人)	83	83	97	78	23	27	5	8	17	13	180	161
割合	36.9%	39.7%	43.1%	37.3%	10.2%	12.9%	2.2%	3.8%	7.6%	6.2%	80.0%	77.0%
保護者(人)	52	48	110	98	28	29	8	12	16	18	162	146
割合	24.3%	23.4%	51.4%	47.8%	13.1%	14.1%	3.7%	5.9%	7.5%	8.8%	75.7%	71.2%

<分析・考察> 生徒・保護者の指標値は昨年度と同程度である。生徒会による挨拶運動を継続した成果であるとする。質問④の分析と同様に、生徒個々の挨拶を励行する意識の高揚を基盤に、心の通じる挨拶の意義について考えさせる取組を、生徒会活動を交えながら図っていくことが重要である。

生徒への質問⑩ 美中生は、身だしなみがきちんとしている
保護者への質問⑩ 美中生は、身だしなみがきちんとしている

4段階指標値	生徒	7月	2.69	12月	2.67	増減	保護者	7月	3.17	12月	3.14	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]			あまりそう思わない [2]			そう思わない [1]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
生徒(人)	27	26	105	97	61	61	15	15	17	10	132	123
割合	12.0%	12.4%	46.7%	46.4%	27.1%	29.2%	6.7%	7.2%	7.6%	4.8%	58.7%	58.9%
保護者(人)	61	53	113	116	19	14	4	6	17	16	174	169
割合	28.5%	25.9%	52.8%	56.6%	8.9%	6.8%	1.9%	2.9%	7.9%	7.8%	81.3%	82.4%

<分析・考察> 生徒の指標値が昨年度より0.1pt下降した。身だしなみに対する意識を高めるためにも、自分自身の在り方を考え実践する指導の充実が必要である。そのために、教師自身の身だしなみや職員室の整理整頓等といった自律の取組も必要である。

生徒への質問⑪ 美中生は、活気ある生活を送っている
保護者への質問⑪ 美中生は、活気ある生活を送っている

4段階指標値	生徒	7月	3.34	12月	3.35	増減	保護者	7月	3.13	12月	3.15	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]			あまりそう思わない [2]			そう思わない [1]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
生徒(人)	92	98	98	73	15	25	3	2	17	10	190	172
割合	40.9%	47.4%	43.6%	34.9%	6.7%	12.0%	1.3%	1.0%	7.6%	4.8%	84.4%	82.3%
保護者(人)	53	53	115	108	16	20	6	3	23	21	168	161
割合	24.9%	25.9%	54.0%	52.7%	7.5%	9.8%	2.8%	1.5%	10.8%	10.2%	78.9%	78.5%

<分析・考察> 生徒・保護者ともに指標値が昨年度より0.1pt上昇した。行事はもとより教育活動全体を通して、活動の意義や向き合わせ方について指導することが望まれる。生徒の意欲を尊重する人権意識を高く持ち、個々の積極性を大切に指導の充実が今後も重要である。

生徒への質問⑫ 私は、美幌中学校の生徒で良かったと思う

4段階指標値	生徒	7月	3.41	12月	3.42	増減	保護者	7月	2.94	12月	2.87	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]			あまりそう思わない [2]			そう思わない [1]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
生徒(人)	111	105	72	68	12	18	8	9	20	15	183	173
割合	49.8%	50.2%	32.3%	32.5%	5.4%	8.6%	3.6%	1.4%	9.0%	7.2%	82.1%	82.6%

<分析・考察> 指標値は昨年度と同程度である。生徒とのコミュニケーションを大切にしながら生徒の健全な成長を目指すとともに、美幌中への所属感、同学年・他学年と人間関係、教師との良好な関係を築き、有意義な学校生活を送ることができるよう、丁寧に指導・支援をしていくことが今後も必要である。

保護者への質問⑫ 学校は、学力向上に向けた取組を行っている

4段階指標値	保護者	7月	2.94	12月	2.87	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月
保護者(人)	33	31	106	103	26	38
割合	15.5%	15.3%	49.8%	50.7%	12.2%	18.7%

<分析・考察> 今年度の肯定意見の割合も6割を超える結果を得ることができた。TT及び習熟度別授業、授業改善、放課後や長期休業中の学習サポート等に取り組んできた成果と考えられる。しかしながら、学力向上の取組に見合うだけの学習定着度については課題があるため、生徒自身がわかる・できるを実感することができる学習を目指し、学校が一元となって組織的に取組を推進していくことが今後も必要である。

保護者への質問⑬ 学校は、いじめ等の生徒を取り巻く問題に適切に対応している

4段階指標値	保護者	7月	2.79	12月	2.67	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月
保護者(人)	31	23	79	83	32	37
割合	14.5%	11.2%	36.9%	40.5%	15.0%	18.0%

<分析・考察> 指標値は昨年度と同程度である。肯定的回答の割合も50%を超えた。生徒を取り巻く問題はいじめ・不登校・生徒の耐性や情報モラルの低下など多様化しており、心の教育・相談活動の充実、道徳科や生徒会を通して「自ら考える活動」の推進など、組織的な対応の充実が肝要である。

保護者への質問⑭ 学校は、進路に関して適切な指導を行っている

4段階指標値	保護者	7月	3.11	12月	3.03	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月
保護者(人)	42	40	112	107	13	24
割合	19.6%	19.5%	52.3%	52.2%	6.1%	11.7%

<分析・考察> 指標値は昨年度と同程度である。将来を見据えたキャリア教育及び進路指導の充実を図ることが大切である。生徒及び保護者が必要とする進路情報を早期に通信等で提供することが今後も必要である。

保護者への質問⑮ 学校は、通信等で十分に情報提供を行っている

4段階指標値	保護者	7月	3.14	12月	3.03	増減
	そう思う [4]			だいたいそう思う [3]		
	7月	12月	7月	12月	7月	12月
保護者(人)	55	47	120	113	17	22
割合	25.8%	22.9%	56.3%	55.1%	8.0%	10.7%

<分析・考察> 指標値は昨年度と同程度である。肯定的回答の割合も8割程の結果を得た。通信作成時には記載内容の吟味・誤字脱字のチェックなどを十分にに行い、保護者との連携強化に向けて意図的・計画的なものとなるよう適切な情報発信を行う必要がある。

平成30年度 学校教育活動に関するアンケート②【教職員用】 集計結果

内容	番号	質問項目	指標値 下段・昨年①比	A:4点	B:3点	C:2点	D:1点
経営管理	1	学校の教育目標、重点目標に沿って、学年・学級目標、各分掌の目標、活動推進内容を設定し、日常の教育活動の中で具現化するように取り組んだ。	3.00 0.00	1 8.3%	10 83.3%	1 8.3%	0 0.0%
	2	地域に根ざし、保護者や地域住民に信頼される学校を推進するために、学校からの情報発信に取り組んだ。	3.08 -0.19	1 8.3%	11 91.7%	0 0.0%	0 0.0%
学年経営 学級経営	3	学校の教育目標や重点目標の具現化に向け、学年・学級目標に活かされる学年・学級経営案を作成した。	2.90 -0.10	1 10.0%	7 70.0%	2 20.0%	0 0.0%
	4	生徒の意欲や自主性を大切にし、創造力豊かな学年・学級経営に取り組んだ。	3.36 0.27	4 36.4%	7 63.6%	0 0.0%	0 0.0%
教育課程	5	学習指導要領の趣旨に即し、「知育」「徳育」「体育」のバランスのとれた教育課程の編成と実践に取り組んだ。	2.91 0.00	0 0.0%	10 90.9%	1 9.1%	0 0.0%
	6	体験的な学習や問題解決的な学習など、生徒一人一人に応じた指導に努め、生きる力の育成に取り組んだ。	3.27 0.18	4 36.4%	6 54.5%	1 9.1%	0 0.0%
教科指導	7	基礎的・基本的事項の指導の徹底と定着に取り組んだ。	3.40 -0.15	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
	8	年間指導計画に沿って取り組むとともに、実践検証を進めながら指導した。	2.91 -0.27	2 18.2%	6 54.5%	3 27.3%	0 0.0%
生徒指導	9	学級活動を基盤として、各学年及び学年間で基本的な生活習慣の定着に取り組んだ。	3.33 0.06	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	10	生徒とのふれあいを大切にし、生徒理解を図る中で積極的な生徒指導の推進に取り組んだ。	3.58 0.22	7 58.3%	5 41.7%	0 0.0%	0 0.0%
	11	生徒活動の充実を図り、自治的・自主的な実践活動の推進に取り組んだ。	3.18 -0.09	2 18.2%	9 81.8%	0 0.0%	0 0.0%
特別活動	12	学校行事などを通して、生徒の自主性、規律ある集団活動の育成に取り組んだ。	3.36 0.09	4 36.4%	7 63.6%	0 0.0%	0 0.0%
	13	生徒会活動を通して、自主的・自発的な活動を推進し充実感、達成感を味わわせるよう取り組んだ。	3.00 0.09	1 9.1%	9 81.8%	1 9.1%	0 0.0%
	14	部活動への参加を促し、スポーツや文化活動に親しむ中から心身の成長を図った。	3.27 0.00	4 36.4%	6 54.5%	1 9.1%	0 0.0%
道徳教育	15	道徳教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、指導の観点を明確にして取り組んだ。	2.64 -0.18	2 18.2%	3 27.3%	6 54.5%	0 0.0%
	16	副読本や私たちの道徳を活用するなど、授業の創意工夫と改善に努め、道徳の時間の充実を図った。	2.91 0.00	3 27.3%	4 36.4%	4 36.4%	0 0.0%
総合的な学習の時間	17	福祉、環境、進路など体験的な学習、問題解決的な学習に取り組み、内容の充実に取り組んだ。	3.09 0.00	2 18.2%	8 72.7%	1 9.1%	0 0.0%
	18	地域の教育環境や人材等を積極的に活用し、指導の工夫を図った。	3.00 0.18	3 27.3%	5 45.5%	3 27.3%	0 0.0%
研修	19	研究主題に基づき組織的な研修を推進し、研修と実践の一体化を図った。	3.18 0.36	3 27.3%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%
	20	教育活動の充実と専門性の向上のために、計画的に研究会や講演会に積極的に参加していた。	3.36 0.64	5 45.5%	5 45.5%	1 9.1%	0 0.0%
進路指導	21	進路の全体計画・年間指導計画に基づき、三年間を見通した指導を行った。	3.18 0.36	3 27.3%	7 63.6%	1 9.1%	0 0.0%
	22	生徒一人一人の能力や適性を把握し、個に応じた指導を行った。	3.45 0.18	5 45.5%	6 54.5%	0 0.0%	0 0.0%
健康安全	23	生命を尊重し、健康安全の保持・増進を目指した指導を行った。	3.17 -0.11	2 16.7%	10 83.3%	0 0.0%	0 0.0%
	24	各種検診や身体測定、体力測定で実態を把握し、自己の健康と体力の維持・増進に努める態度の育成に取り組んだ。	3.00 -0.20	4 33.3%	4 33.3%	4 33.3%	0 0.0%
	25	交通安全の意識の高揚と防災に対する関心を高め、事故や災害発生時における的確な判断力・行動力の育成に取り組んだ。	3.25 0.16	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%	0 0.0%
特別支援教育	26	生徒個々の障がいの程度、能力適性に応じた指導計画作成と指導方法の工夫を図った。(工夫が見られた。)	3.40 0.31	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
	27	社会的、職業的に自立を目指す教科指導と進路指導、自立活動に取り組んだ。(自立活動の取組が見られた。)	3.40 0.40	4 40.0%	6 60.0%	0 0.0%	0 0.0%